鳥取県病害虫防除所

特定外来生物「クビアカツヤカミキリ」に関する情報提供のお願い

クビアカツヤカミキリ（*Aromia bungii*）は、東南アジアを原産とする 2.5～4.0cmの昆虫で、光沢のある黒色と赤い胸部（クビの部分）が特徴です（図 1）。また、クビアカツヤカミキリの幼虫はサクラ、モモなどの樹の中に入り込み、うどん状のフラス（木くずや糞が混ざったもの）を出します（図2）。

日本では、平成 24 年に愛知県のサクラで初めて本種が発見されました。発生当初は、主として公園や街路樹のサクラで発生が確認されていましたが、近年ではウメ、モモ、スモモ等の果樹園でも被害が確認されています。

クビアカツヤカミキリの成虫やフラスを発見した場合は病害虫防除所又は自然共生課にご連絡ください。

【連絡先】

・鳥取県病害虫防除所（園芸試験場　環境研究室）　TEL 0858-37-4211
（農業試験場　環境研究室）　TEL 0857-53-0721

・自然共生課　TEL 0857-26-7978

○発見時は以下の QR コードによる、メール連絡フォームでお知らせください。

・メール連絡フォームには、次の事項を記載していただき、可能であれば写真を添付してください。
フラスの写真を添付する際には、フラスの形がはっきりとわかるものをお送りください。
（1）発見者の連絡先、お名前等（後日、こちらから電話等で状況を確認させていただくことがあります。）
（2）発見時の様子（例　サクラの木からフラスが出ていた。モモの木の近くで成虫を見つけた。等）
（3）発見日時
（4）発見場所（地名だけでなく周囲の状況など、なるべく詳細※にお願いします。）
※Google マップの位置情報や緯度経度でもよいです。
（5）様子の分かる写真

○成虫は殺処分してください。
※本種は特定外来生物に指定されているため生きたまま持ち運ぶこと、飼育や野外へ放つことは違法となります。

○死んでいる個体であっても、見つけた場合には連絡してください。



図 1 クビアカツヤカミキリ成虫（左：オス、右：メス）
写真提供：環境省
無断転載禁止



図 2　排出されたフラス
写真提供：兵庫県
無断転載禁止

詳細は農林水産省のクビアカツヤカミキリに関する情報をご覧ください。